



主催／北の国災害サポートチーム
被災者支援の多様な視点を学ぶ
きたサポ研修会

日本では毎年のように全国各地で地震や豪雨等による災害が発生しています。災害発生時には、応急対応期から復興期にかけて、被災者に多岐にわたる環境整備や再建、コミュニティの再構築をはじめとし、保健医療、福祉、生業に関するさまざまな分野において支援が必要とされます。特に災害の種類や被害を受けた地域の地形等の特性に応じた被災者支援を高めるためには、行政や社会福祉協議会、NPOや企業等の機関の分野横断的な連携が求められています。本研修では、各専門分野で活動する組織、団体をゲストに迎え、災害発生時の対応や平時の活動について取り上げます。多様な支援機関とその活動について理解し、各機関の強みを生かしスムーズな支援体制の構築ができることを目指します。

第19回 【テーマ】地域コミュニティ形成 2025年3月4日(火) 14:00～16:00

第20回 【テーマ】活動資金調達 2025年3月11日(火) 14:00～16:00

第21回 【テーマ】情報支援 2025年3月18日(火) 14:00～16:00

参加対象

- 企業・企業組合・労働組合に所属する方
- NPO・協同組合・ボランティア団体に所属する方
- 行政・社会福祉協議会職員、災害時の支援活動に関心のある方

申込方法

下記の二次元バーコードにアクセス(Peasid)し、お申込の上、チケットをご購入ください。お申し込みが難しい場合は、メール(info@kitasapo.net)にてご連絡ください。別途お振込み先等をご案内いたします。



※原則として、1アカウントでご登録いただけるのは1名のみです。同じご所属から複数でご参加いただく場合は、メールアドレス(※)にてご連絡ください。別送お振込み先等をご案内いたします。

【申込締切】
各回5日前の17時まで

参加費

1,000円/名(会場・非会場ともに)
※大学生(厚別まで):無料

開催方法

Web会議システム(Zoom)を用いた
オンライン開催

定員

100名
(各回)



後援
(予定)

北海道・札幌市・社会福祉法人北海道社会福祉協議会
認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)・協同組合ネット北海道

きたサポ研修会
Program

※若干、内容変更が生じる場合があります。ご了承ください。

第19回 【テーマ】地域コミュニティ形成 2025年3月4日(火) 14:00～16:00

住民たちが主役のコミュニティづくり

講師

山口 純子 氏
厚真町総務課情報防災グループ会計年度任用職員
集落支援員



第20回 【テーマ】活動資金調達 2025年3月11日(火) 14:00～16:00

被災地を支える共同募金会の財源の仕組み
～支援活動に役立つボラサポの活用方法～

講師

仲本 利子 氏 杉村 郁雄 氏
社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部



第21回 【テーマ】情報支援 2025年3月18日(火) 14:00～16:00

コミュニティFMによる情報支援
～地域情報を平時も、災害時も～

講師

沼田 勇也 氏
一般社団法人日本コミュニティ放送協会
(JBCA) 北海道地区 事務局長



お問い合わせ

北の国災害サポートチーム

064-0808 北海道札幌市中央区南6条西2丁目5-74 市民活動プラザ豊園201号室
特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター内
TEL: 011-200-0973 FAX: 011-200-0974 E-mail: info@kitasapo.net

きたサポ
ホームページ



北の国災害サポートチームは、国の防災基本計画に基づき、北海道の災害中間支援組織(ボランティア団体・NPO、企業等の活動支援の多様な支援団体)に対し、中立的な立場で活動調整やコーディネートを行う組織)として2019年10月に結成しました。2025年1月末現在、協会員78(個人・団体)で活動しています。協力会員としての参画もお待ちしております。

■ NHK防災マガジン「雪への備え」

近年、気候変動の影響で雪が変わってきています。2023年から2024年にかけての冬は、全国的に気温が高く、降雪量は少なかったものの、北海道の日本海側など一部の地域では集中的な降雪により記録を上回る大雪となりました。

短時間で集中的に降る“ドカ雪”や駐車場や体育館の屋根を崩壊させる”重たい雪“と変わる雪への備えについて知っておきましょう。

【家庭での備え】

大雪が降りそうな場合の備え

- ・スマホなどの充電用バッテリー
- ・ガスコンロ
- ・懐中電灯、ラジオ
- ・防寒着、カイロ

【企業での備え】

事前

- ・事業を守るため、継続すべき事業を設定する。
- ・気象の状況に応じた対応を考えておく。

大雪前

- ・出社や物流に依存する業務を優先的にやっておく。

大雪中

- ・実際に大雪になったら出社・物流に依存しない業務を実施
- ・テレワークなどの活用

職場や生活で役立つ防災情報をお届けします

NHK防災マガジン

“ドカ雪”や“重たい雪” 変わる雪への備えは？

近年、気候変動の影響で雪が変わってきています。短時間で集中的に降る“ドカ雪”や“重たい雪”が駐車場や体育館の屋根を崩壊させることも、変わる雪への備えについてまとめました。

近年“ドカ雪”が増えている！

解凍気象観測の年平均
期間：2023年1月～2024年2月

2023年から2024年にかけての冬は、全国的に気温が高く、降雪量は少なかったものの、一部の地域では記録を上回る大雪となりました。2019年の12月から2024年2月の「最深積雪」の年平均を示した図です。「最深積雪」とは、ある期間内における積雪の深さの最大値を示しています。濃い赤色になるにつれて今年より深くなっています。

大雪は事前の情報から対応可能な災害です

●家庭での備え

停電など、ライフラインに影響が出た場合への備えも重要です。2023年には東海地震で、東京都でも大雪トランプが多用しました。気象の状況に応じた対応を考えておく。

- ・スマホなどの充電用バッテリー
- ・ガスコンロ
- ・懐中電灯・ラジオ
- ・防寒着・カイロ

●企業での備え

雪のBCPの考え方

事前	大雪前	大雪中
継続すべき事業を設定	気象の状況に応じた対応	実際に大雪になったら出社・物流に依存しない業務を実施
出社・物流に依存する業務を優先的に実施	出社・物流に依存しない業務を優先的に実施	テレワークなどの活用

【事前】事業を守るため、継続すべき事業を設定する。気象の状況に応じた対応をしておく。

【大雪前】出社や物流に依存する業務を優先的にやっておく。

【大雪中】実際に大雪になったら出社・物流に依存しない業務を実施。テレワークなども活用する。

そのほか
「落雪」の怖さ 頭上の危険にも注意！ 雪道 滑りやすい場所と歩き方のポイント
記事を読むにはこちらをクリック

Multilingual Portal: Japan LIFE & BOSAI

外語版のニュースや防災情報につなげるポータルサイトです。20の外国語とやさしい日本語に対応しています。

災害時 障害者のためのサイト

障害のある方が災害に備えるポイントや、身障りの方が支援するためのヒントをまとめています。

いつでもどこでも、NHKの番組を。

NHK+

総合・Eテレの番組を
スマホやタブレット・
パソコン・テレビで
放送から1週間 何度でも
アプリで便利に！

受信契約者の名前と住所を入力すればすぐに使えます。受信契約がある世帯の方は、別途のお支払い・契約は必要ありません。

利用登録はこちらから 2次元コードをカメラで読み取ってください

- 1 メールアドレス入力
- 2 IDパスワード設定
- 3 氏名・住所入力

NHKは、みなさまと受信料で支えられています
受信料制度へのご理解と、ご契約のお手続きをよろしくお願いいたします

テレビ・受信設備を確認されるみなさま
新規契約

お引越しをされるみなさま
住所変更

専業主婦・学生のみなさま
家族割引

衛星放送を受信できるみなさま
BS

放送受信契約はスマートフォンでのお手続きが便利です

- 1 下記の2次元コードをカメラで読み取る
- 2 ご契約内容やお支払い方法を選択
- 3 お郵便情報を入力しお手続きを完了

パソコンからのお手続き
NHK受信料の窓口 まで
https://www.nhk-e.jp/ushiryoku/

お電話でのお手続き
0120-151515
050-3786-5003 (受付時間：午前9時～午後5時)

0-100 [NHK受信料の窓口] https://www.nhk-e.jp/ushiryoku/

NHK ふれあいセンター 0570-077-077
〒100-8555 東京都千代田区千代田 050-3786-5003 (受付時間：午前9時～午後5時)

■ 消防団の啓発・募集

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安心・安全を確保するために活動する団体です。

活動内容は、災害現場での消火をはじめ、災害発生時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御など様々あり、災害発生時以外にも、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、広報活動など、幅広く活動を行っています。

また、女性消防団員の数も年々増加しており、保育所や幼稚園で実施している避難訓練の指導役として活躍されている例もあります。

消防団への入団に興味がありましたら、こちらのコードでご確認ください。



消防 求む 消防団員

自分達の“まち”を、自分達で守り抜く。

あなたの力を、あなたの“まち”に。

北海道総務部危機対策局危機対策課消防係
お問い合わせ先：011-204-5009

消防団とは？

消防団は、平常は他に職業を持っている地域住民の皆様が、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安心・安全を確保するために活動する団体で、消防本部や消防署と同様に市町村の消防機関です。

道内には、206消防団

現在、北海道内では、206の消防団が活動しています。

役割は？

災害現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御など様々な現場で活躍しています。また、災害発生時以外にも、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、広報活動など、幅広い活動を行っています。

報酬は？

▶ 収入額定額の様子

午領報酬(数万円程度)や災害活動または訓練に出動した際の出勤報酬(1回あたり数千円程度)などが支給されます。

女性団員活躍中!

消防団では、たくさんの女性団員が活躍しています。多くの女性の子カラが消防団で輝いています。

入るには？

入団フロー

お近くの消防団を検索!

管轄の消防本部に連絡!

入団

あなたも消防団員に!

• お近くの消防団はこちらから検索できます。(消防庁のリンク)

▶ 入団資格等は各消防団が条例で定めています。

北海道総務部危機対策局危機対策課消防係
お問い合わせ先：011-204-5009